

子ども基本法とは？

概要

子どもや若者のみなさんは、一人ひとりがとても大切な存在です。

そして、自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていくことがとても重要です。

子ども基本法は、こうした社会を目指して子どもや若者に関する取組「子ども施策」

を進めていくための基本となる事項を定めた法律です。

令和5年4月に、子ども家庭庁が創設されるのと同時に、子ども基本法が施行されます。

ぜひこのパンフレットで「子ども基本法」のことを知っていただき、

「子どもまんなか社会」を、みんなで一緒につくっていきましょう。



子ども施策における
「子ども」の定義

子ども基本法では、18歳や20歳といった年齢で必要なサポートがとぎれないよう、心と身体の発達の過程にある人を「子ども」としています。

Q. 子ども施策を決める上で大切なことはありますか？

A

子ども施策は、6つの基本理念をもとに行われます。

- 1 すべての子どもは大切にされ、
基本的な人権が守られ、差別されないこと。
- 2 すべての子どもは、大事に育てられ、
生活が守られ、愛され、保護される
権利が守られ、平等に教育を受けられること。
- 3 年齢や発達の程度により、
自分に直接関係することに意見を言えたり、
社会のさまざまな活動に参加できること。
- 4 すべての子どもは年齢や発達の程度に応じて、
意見が尊重され、子どもの今とこれからにとって
最もよいことが優先して考えられること。
- 5 子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが
十分に行われ、家庭で育つことが難しい子どもも、
家庭と同様の環境が確保されること。
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、
喜びを感じられる社会を
つくること。



Q. こども施策にこどもや若者の意見を取り入れたほうがいいのでは？

A

もちろん、こどもや若者の意見を聴きながら、国や都道府県、市区町村は、こども施策を進めていきます。

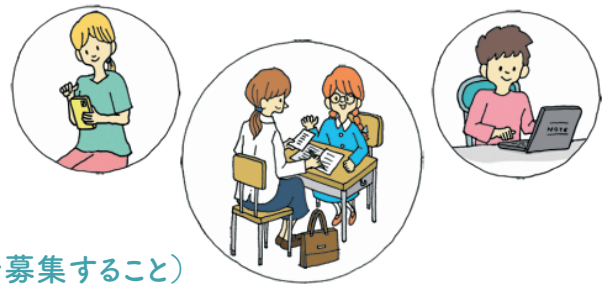


Q. こどもや若者が意見を言う機会や場はありますか？

A

こどもや若者のみなさんが意見を言える場や仕組みづくりとして以下のような方法を想定しています。

- ・インターネットを使ったアンケートを実施すること
- ・行政の職員が直接会って、意見を聴くこと
- ・審議会などへのこどもや若者の参画
- ・こどもや若者を対象としたパブリックコメントの実施
(国や地方自治体が規則などを決めるときに、広く意見を募集すること)



Q. こどもや若者から聴いた意見はどのように反映されますか？

A

こどもや若者のみなさんから聴いた意見を大事にしてこども施策を進めていきます。


例えば、こどもや若者から聴いた意見をこども家庭審議会などに届けたりしていきます。そして、国や都道府県、市区町村は、施策の目的を踏まえ、こどもや若者の意見が実現できるかどうかを考えながら、こども施策に取り組んでいきます。



もっと詳しい
こども基本法についての
パンフレットは **こちら!**



<https://www.cfa.go.jp/resources/>

※PDFでは  がある場所はクリックでアクセスできます。



「こども基本法」の動画はこちら!



<https://youtu.be/ZNb80TAHeGc>

こどもまんなか
こども家庭庁